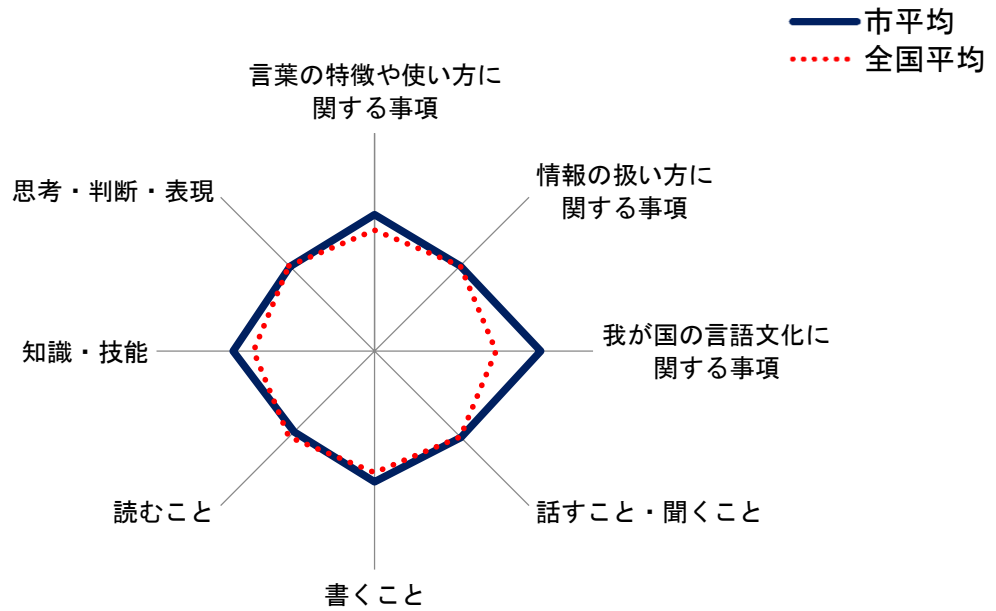
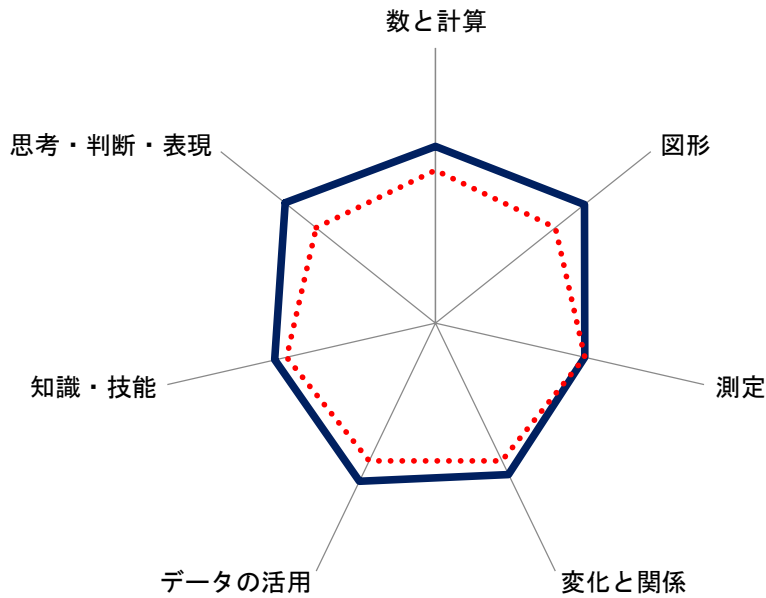


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

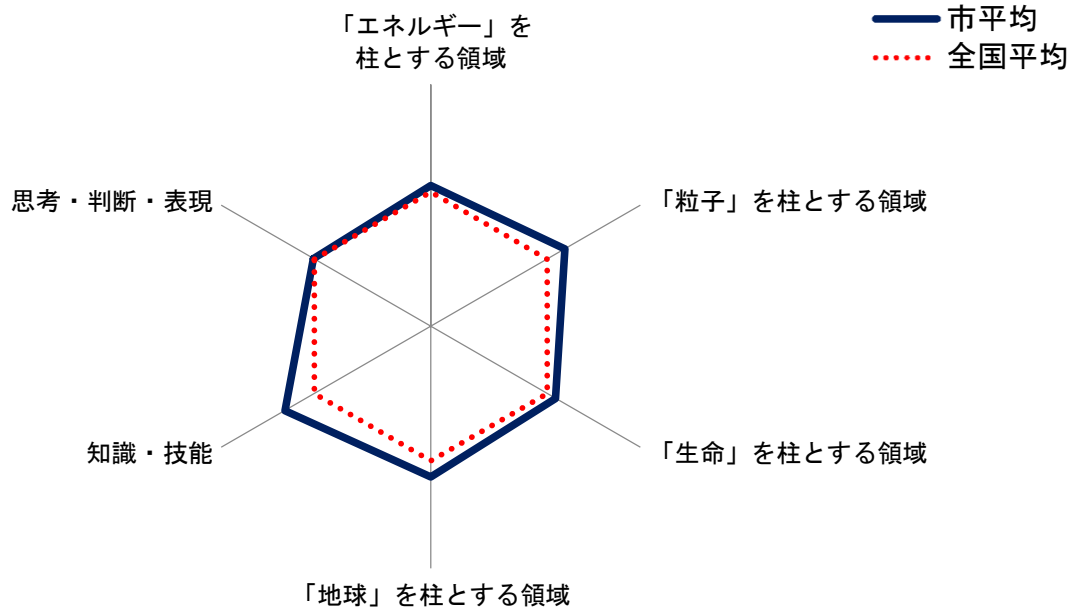


【算数】

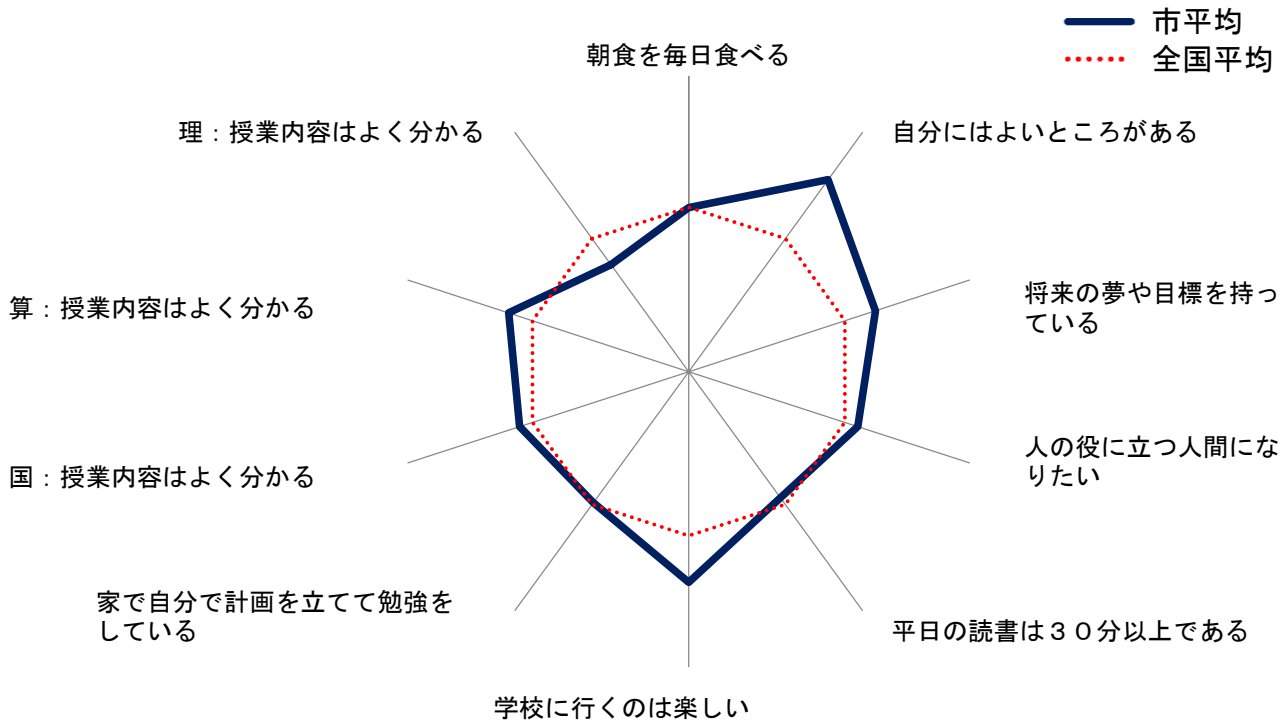


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、ほとんどの項目が全国平均を上回っており、特に、国語の「我が国の言語文化に関する事項」、算数の「図形」の項目は、極めて良好な結果である。今後も、更なる学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」などの項目が全国平均を上回っており、自己肯定感や自己有用感を高める教育活動の推進の成果がうかがえる。一方、「平日の読書は30分以上である」「家で自分で計画を立てて勉強している」「理科の授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を下回っており、今後、読書活動のより一層の充実と児童一人一人に応じた学習の充実を図る指導の推進が望まれる。